

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福島県福島市
本事業の担当部局名 市民・文化スポーツ部定住交流課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進					
個別事業名		福島市出会いの場創出事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 平成28年度
総事業費(A)(円)		4,747,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 4,747,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		4,730,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	3,464,000	330,000	55,000	85,000	343,000
	対象経費支出予定額	0	3,447,000	330,000	55,000	85,000	343,000
	対象外経費支出予定額	0	17,000	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	470,000	0	0	0	0	4,747,000
	対象経費支出予定額	470,000	0	0	0	0	4,730,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	17,000
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の増加を目的としてライフサポーターおよびマリッジサポーターによる婚活相談者への個別の対応や出会いの場の創出を行っていく。 さらに令和7年度は、高校生・大学生等を対象としたライフデザインセミナー等を開催し、若者が将来のライフイベント考える機会を提供し、結婚や子育てに向けた意識の醸成を図る。また、共働き世帯が増加する中、男女がともに仕事と家庭を両立できる働き方に向けた職場環境整備が必要であることから、企業や当事者に対し意識改革を促す取り組みを行う。				
＜本個別事業の位置付け＞ 本市では平成28年度以降は人口の社会減が続いているとともに、婚姻件数についても年々減少傾向にあり、緊急に対策を講じる必要がある。 令和6年度の市民アンケートでは「どのような状況になれば結婚すると思うか?」という問いに対して「良い相手と出会う機会があること」が全体の63.3%で最も多い回答だった。 このことから、過年度に引き続き子育ての入口である結婚支援の強化を図るため、出会いの場の創出及び結婚希望者それぞれが持つ課題を解決するための事業を展開していく。							

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	結婚希望者支援	○結婚相談業務 ・市定住交流課内に結婚希望者相談の総合窓口となるライフサポーターを雇用する。 ・福島市役所にて結婚全般の相談を受け付け、マリッジサポーター制度の案内、婚活情報の提供などを行う。 ○えんむすび相談会 ・年6回結婚相談会を実施する。相談会の場でマリッジサポーターが相談者の結婚に対する意識や本気度をより具体的に確認したうえで相談対応やお引き合わせを行う仕組みを作る。 ・えんむすび相談会と抱き合わせではび福なび出張登録会を複数回実施し、はび福なびにも登録してもらうことで、相談者のマッチング率の向上を目指す。 ○マリッジサポーター研修会の開催 ・相談者の引き合わせ等を実施するマリッジサポーターの能力向上を目的として、専門講師を招いた研修会の開催を企画する。また、県の世話焼き人も参加してもらうことで、市マリサポと県世話焼き人の交流を図り、最新の婚活情報の共有を図っていく。 ○マリッジサポーター主催 婚活イベント ・年5回対面のイベントを実施する。同日イベントの前に婚活セミナーを実施する。 ・参加目標人数: ①通常規模: 男女各10名(合計20名)×3回=60名 ②大規模: 男女各30名(合計60名)×2回=120名 ・イベント内容: 未定。(地域の資源を活かした参加者が積極的に交流できる内容を検討中。体験料等の参加者に還元する費用(補助対象外)を含むイベントに係るすべての費用は参加費を徴収し充当する。(当計画に含まない) ・婚活セミナーの内容: マリッジサポーターが講師となり、「婚活に必要なコミュニケーション能力、異性との関わり方や身だしなみ(髪型や服装)、結婚に関する統計の紹介」等のセミナーを30分程度実施する。 ○SNS広告 ・①目的: マリッジサポーター事業や婚活イベント、結婚支援情報等の告知のため、②訴求対象者: 福島市周辺に居住する39歳以下の方、③選定理由: 若年層が多く利用するSNSを活用した広告を既存の広報と合わせて行うことでより多くの訴求対象者へ情報を届けるため、④広告スペース・掲載回数: Instagram広告を6回実施
2	婚活セミナー&個別レッスンの実施	交際・結婚に発展させるためには、どのようなスキル(コミュニケーション、外見、行動など)を身に付ける必要があるのかやそれぞれが持つ婚活に対する悩みを克服するために、専門講師から個別に助言・指導をもらい、これからの婚活に役立ててもらおう。セミナー、個別レッスン、電話・ZOOM・対面による個別相談を実施。また、相談者に対して市マリッジサポーター制度や県はび福なびへの登録を促し、県と市で連携して支援をしていくことで、より多角的に婚活に取り組んでもらい、成婚率の上昇につなげていく。 個別レッスン受講後、数か月後に受講の成果が婚活に活かしているかアンケート調査を実施する。 対象: 福島市での結婚を望む独身者50名
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・結婚相談者の長期化や高齢化への対応が課題。今後登録期間を設定する等により、活動がない者を退会させる仕組みを作ることで、期間内でより活発な婚活を行えるよう意識づけを図るとともに、マリッジサポーターの負担軽減を図る仕組みを検討していく。 ・婚活イベント&セミナーについて、行政主体という安心感から募集人数に対して、多数の応募があり抽選により実施をしている状況であり、参加したくても出来ないという機会の損失を招いている。イベントをより大規模化することにより、希望する者が多く参加できる体制を整え、より多くの出会いを提供できる機会を創出していく。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻届を提出した件数		件	1036	942 (R5年)
	出生数		人	1565	1,423 (R5年)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.20 (R5年)	
	婚姻件数		件	942 (R5年)	
	婚姻率			3.42 (R5年)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	マリッジサポーターの登録者数	人	28	20 (R7.1.7時点)
	②	ライフサポーターとマリッジサポーターの連携による相談件数	件	70	53 (R7.1.7時点)
	③	婚活イベント及びスキルアップセミナー参加者数	人	180	107 (R7.1.7時点)
	④	婚活イベント及びスキルアップセミナーの募集定員に対する参加者数の割合	%	100	177 (R7.1.7時点)
	⑤	婚活セミナー & 個別レッスンの参加者数	人	120	94 (R7.1.7時点)
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100	95 (R6年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	—
	④	婚活イベント時のカップリングした人数	人	30	18 (R7.1.7時点)
	⑤	個別レッスンを受講し、今後の活動に活かせると感じた参加者の割合(満足度)	%	100	100
	⑥				
	⑦				
	⑧				